

2019 年度

授業概要

科目名	関係法規			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制3年	通年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 わが国の法規の体系や社会保障に対する考え方に触れながら、医療従事者の働く背景にある法規（衛生法規、医事法規、医療関連職の資格と業務内容を定めた法律）およびその他の関連法規（社会福祉法規、社会保険法規、労働法規）を学ぶ。また、捕装具の支給制度について理解の上で、義肢装具の価格の構成や算定方法について学ぶ。								
〔授業全体の内容の概要〕 講義6コマを関係法規の整理、知識の整理、および福祉用具プランナー講習。そして捕装具の値段の算定については、2コマの演習を行う。								
〔講師の実務経験〕 1991年4月から2012年7月 川村義肢株式会社（大阪府）にて義肢装具の採型適合業務に従事。2012年10月から2014年3月 有限会社永野義肢（大阪府）にて義肢装具の採型適合業務に従事する。								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 法律上定められた義肢装具士およびその他の医療関連職種の内容についての説明ができる。 わが国の社会保障の考え方とその中での義肢装具の位置づけについて論ずることができる。 適切な義肢装具の見積もりの算定が行え、かつ、義肢装具を必要とする人にその状況に応じて利用できる社会資源についての説明が行える。								
回数	講義内容							
1	わが国の法規の体系、医療関係者の資格と業務内容を定めた法律							
2	義肢装具士法制定の背景、義肢装具士法、義肢装具士業務指針							
3	社会保障関係法規と社会福祉関係法規							
4	福祉用具供給に係わる法律関係							
5	介護保険制度と福祉用具							
6	装具の価格の算定方法 ①下肢装具、足底板、靴型装具を例に							
7	義肢の価格の算定方法 ②下腿義足を例に							
8	その他の関係法規（労働法規、PL法など）							
【 準備学習・時間外学習 】								
予習復習をすること								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
配布資料								
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
課題評価（小テスト+終講試験）による								